

北海道科学大学 「ここから」プロジェクト わがまちトーク in まくべつ

参加
無料

北海道科学大学は2027年度の新学部開設に向け、2024年4月、新たに「地域共生センター」を発足しました。「わがまちトーク」は、これまでにない大学の新しい姿をゲストの皆さんと一緒に、フリートーク形式でざっくばらんに語り合うイベントです。皆さんの「わがまち」への想いを自由に聞かせてください。「ここから」何が始まるのか一緒にワクワクを共有しませんか。



2.11 火祝

15:00 ▶ 16:40

幕別町庁舎1階

中川郡幕別町本町130番地1

主催 北海道科学大学

共催 幕別町

幕別と大学、これまでとここから

わがまちトークの第3回となる今回は、「幕別町」を舞台に開催します。今年度、本学建築学科の学生による町内の空き家改修プロジェクト、未来デザイン学部の有志学生によるフィールドワークを実施しました。その報告と、多くの町民のみなさんとの交流で感じたこと、幕別の好きなところなどを地域の方、学生、教員と語り合う場として開催します。みなさんの参加を心よりお待ちしております。

スケジュール

15:00 開会の言葉

15:10 学生による成果報告

町内の空き家改修プロジェクト

工学部建築学科 4年 三浦 麻依さん

地域協働デザインプロジェクト

未来デザイン学部生

15:40 ゲスト×大学 クロストーク

「私が幕別を好きになった理由」

清田 千裕さん×三浦 麻依(学生)×谷口 尚弘(教員)

「幕別でつながる“ワクワク”ってなんだろう」

本間 淳さん×未来デザイン学部生×横山 貴志(教員)

16:40 終了

ゲストのみなさまのご紹介

写真家・Photographer

清田 千裕さん

1992年生まれ。桑沢デザイン研究所卒業後、アシスタントを経て独立。カタログやwebなど幅広いジャンルの撮影を行う。2024年春より東京から幕別町へ移住。空き家を改装し撮影スタジオ兼カフェ[EN]をオープン。

幕別町
経済部 商工観光課長

本間 淳さん

全道観光まちづくりリーダーネットワーク(きたかん)での繋がりや交流をはじめ、長らく幕別の地域振興・観光振興現場で活躍。趣味はキャンプ。最近、老後の趣味探しでパン作りにも挑戦!

2024年4月

地域共育センターメンバー

もっと地域とつながる大学に 地域共育センター発足



地域共育センター
副センター長

入試・地域連携部
木本 晃 参与

地域共育センター主任

未来デザイン学部
人間社会学科
道尾 淳子 准教授

地域共育センター
副センター長

入試・地域連携部
地域連携・広報課
西 一郎 課長

地域共育センター主任

保健医療学部
理学療法学科
鴨志田 麻実子 講師

地域共育センター長

薬学部
薬学科
山下 美妃 教授

地域共育センター主任

工学部
都市環境学科
細川 和彦 准教授

地域共育センター
戦略アドバイザー

入試・地域連携部
高村 茂 参与

本学に新たに誕生した「地域共育センター」とはどんな組織なのか？
センター長を務める山下教授に本学が目指す地域連携の未来について伺いました。

建学の精神として「地域社会の活性化に寄与する」ことを使命としている本学では、「地域社会への貢献」を基本理念に、これまでさまざまな地域との連携事業を展開してきました。その輪はキャンパスのある札幌市手稲区はもちろん、北海道内のさまざまな市町村、さらには青森県弘前市まで広がっています。学校法人北海道科学大学が創立100周年を迎える今年、本学は新たに「地域共育センター」を設立し、地域連携の歩みを次なるフェーズへと進めます。

これまでの地域連携は、どちらかというと公開講座や講演といった本学の教職員や学生が地域へ出向いて教える教育的要素の強いものが多くありました。ですが、これから進める地域連携は“教育”ではなく、“共育”。本学のリソースを提供するだけではなく、地域全体を学びの場として、私たちも地域と共に成長させてもらいながら、地域の発展・成長に貢献していく。双方向に学び、教わり、成長できる関係を築き、その上で地域に貢献できる人材を育む“共育”を目指していきます。「地域共育センター」は、その地域との共育を推し進めるための専門組織です。

本センター発足後、これまで行ってきた地域貢献活動を振り返り、本学ができる地域貢献とは何かを改めて見直し、既

存の連携協定先とのさらなる関係強化と連携先の拡充に向けたロードマップを策定しているところです。さらに教職員が個々に行っていた社会貢献活動や地域とのつながりについても整理・集約を図っており、今後は「地域共育センター」が地域との窓口として機能していくための体制づくりを進めています。

本学には雪を夏季の空調として活用する研究を行っている先生もいれば、シカよけの笛や屋根の落雪防止について研究している先生もいます。北海道という地域と向き合い、そこでの暮らしを良くするための研究が多く行われているのが大きな強みですし、本学が有する工学部、薬学部、保健医療学部、未来デザイン学部は北海道の地域が抱えるさまざまな課題に関連があり、それらの多くに対応できるところも強みの一つだと思っています。地域の皆さまには、どんなことでも期待してほしいですし、気軽に頼って相談してほしいと願っています。

地域共育センター長 薬学部 薬学科

山下 美妃 教授



地域に“とことんひらく”
センターがその窓口になります

地域連携についての
問い合わせ

北海道科学大学 地域共育センター
(地域連携・広報課)

TEL:011-676-8664
chiiki@hus.ac.jp